20年後の気仙沼を描こう！

2024年1月13日

枝廣淳子

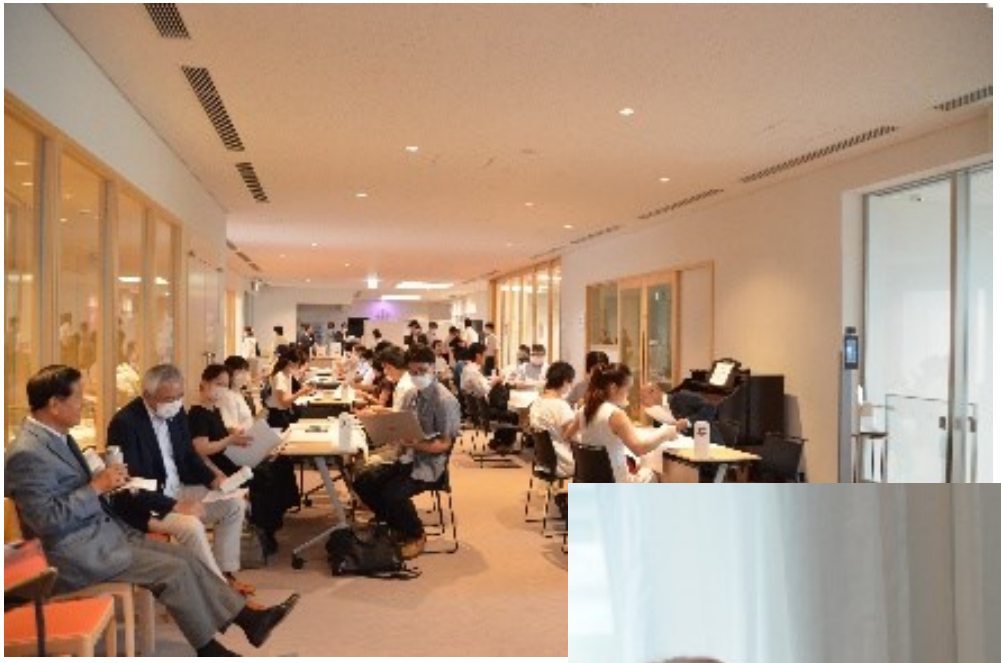
これまでの振り返り

サステナ市民会議　キックオフシンポジウム
第１回分科会

令和５年８月２０日（日）

キックオフシンポジウム参加者
約200名

分科会参加者
105名（市民　約85名、
市職員　約20名）



・「これは気仙沼市で取り組むべき」地域課題

・「これは大事だと思う！」社会課題

参加者の皆さんの感想

- このような市民参加型のワークショップに初めて参加させていただきましたが、こんなにも真剣にまちを良くしたいという人が多くいたことに感銘を受けました。
- 地産地消、人権尊重、すべてにつながっていく大変良い勉強をさせてもらいました。皆さん、活発に話していました。
- 気仙沼をどうにかもっと良くしたいと思う方々が多かった。
- 目の前のことよりも、将来（子どもたち）を考えて、持続可能な気仙沼市に住み続けてもらえるように自分ができることを実施するきっかけになりました。
- 講演、ワークを通じて、今まで自分が思っていたよりも気仙沼には資源や人の力が多くあるのだと感じることができた。
- まだわからないことが多いですが、いろんな気仙沼の人と会って、意見を聞いて勉強になりました。来て良かったです！ 頑張りましょう！
- いろんな思いを持っている方々と話をすることができ、とても有意義だった。会議の中でもっと多くのことを学んでいきたい。
- 未来に向け地域を大切にする想いは皆同じと感じた。
- みなさんの意見を聞いて自分では浮かばないような意見も出てきて良い刺激となった。

第2回　10月7日

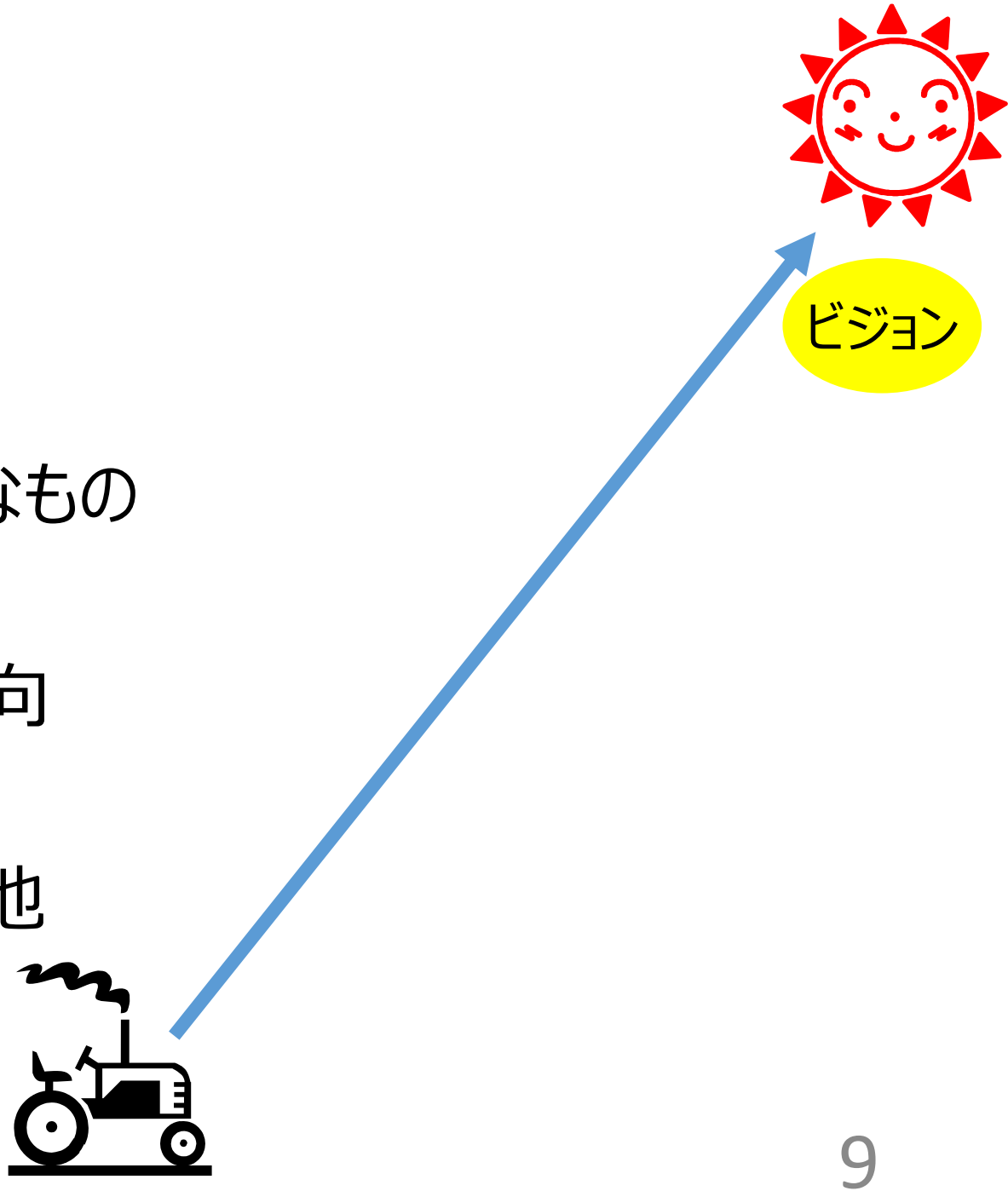
「ビジョン」ってなあに？

Vision

- 視力
- 先見の明
- 展望、見通し

ビジョンとは

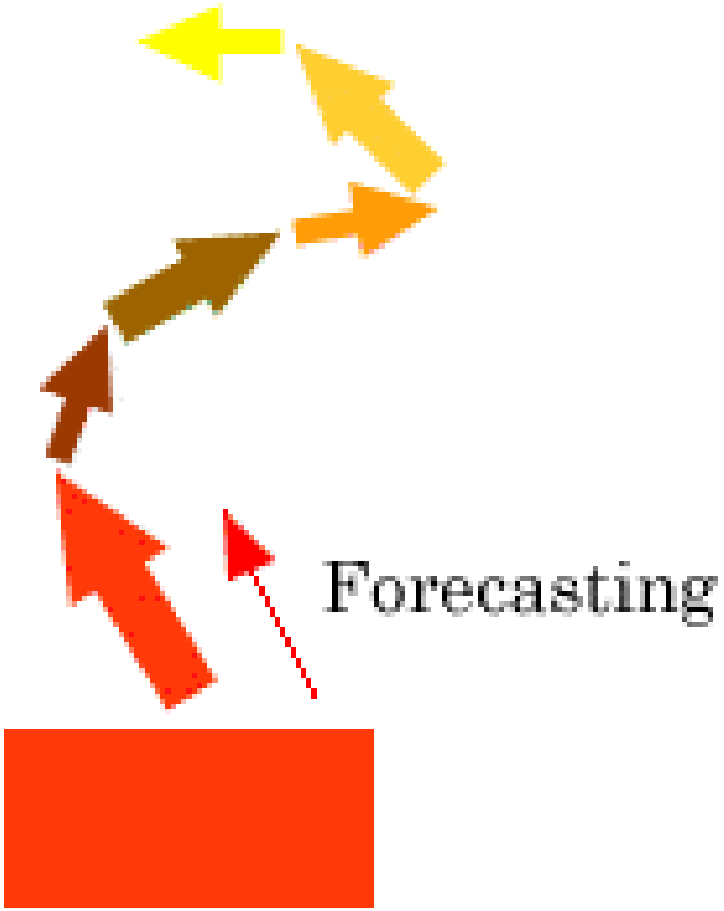
- 「ありたい姿」
- 北極星のようなもの
- めざしていく方向
- ぶれない目的地



ビジョンのつくり方には２種類あります

- 近い未来のビジョンのつくり方
- 遠い未来のビジョンのつくり方

①近い未来のビジョンのつくり方（フォーキャスティング）

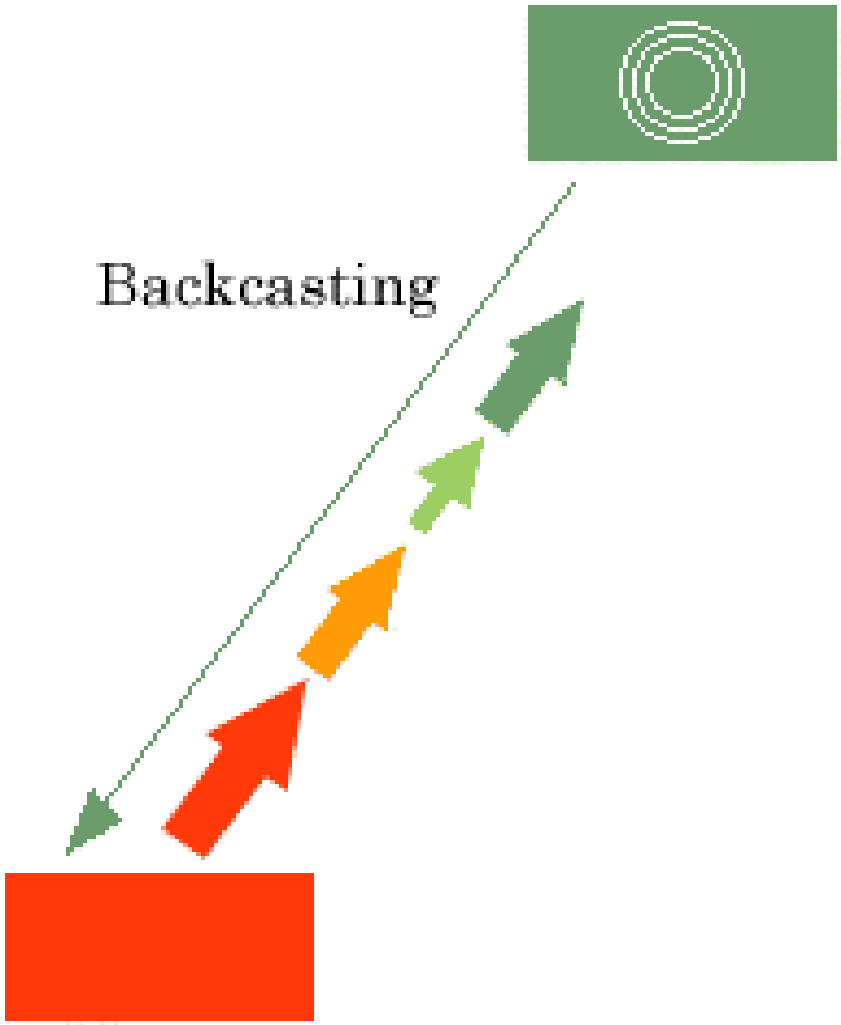


今の現状（何があるか、ないか、何が強みか、弱みか、など）から考える

「今、こうだから
こういう未来をつくりたい」

「今、この曲が弾けるから、
来年の発表会にはあの曲
が弾けるようになりたい」

②遠い未来のビジョンのつくり方（バックキャスティング）



今の現状は脇に置く

「今はどうあれ、
こういう未来にしたい！」

「将来はオーケストラと協演
するピアニストになりたい」

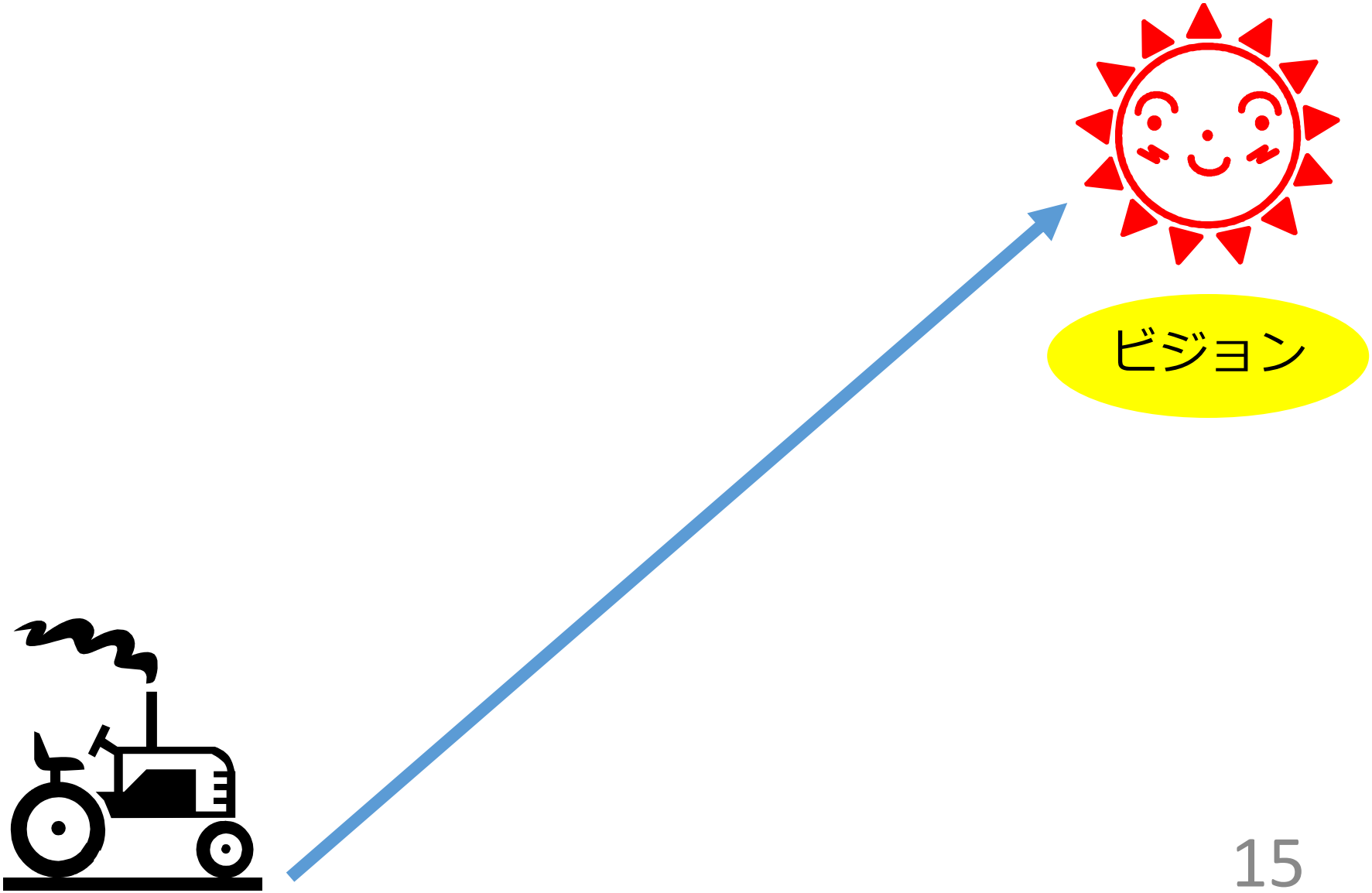
ビジョンはだれがつくるの？

- 一人ひとり、個人のビジョン
- 会社のビジョン
- 地域やまちのビジョン
- 国のビジョン
- 世界のビジョン

バックキャスティングのビジョンのパワー

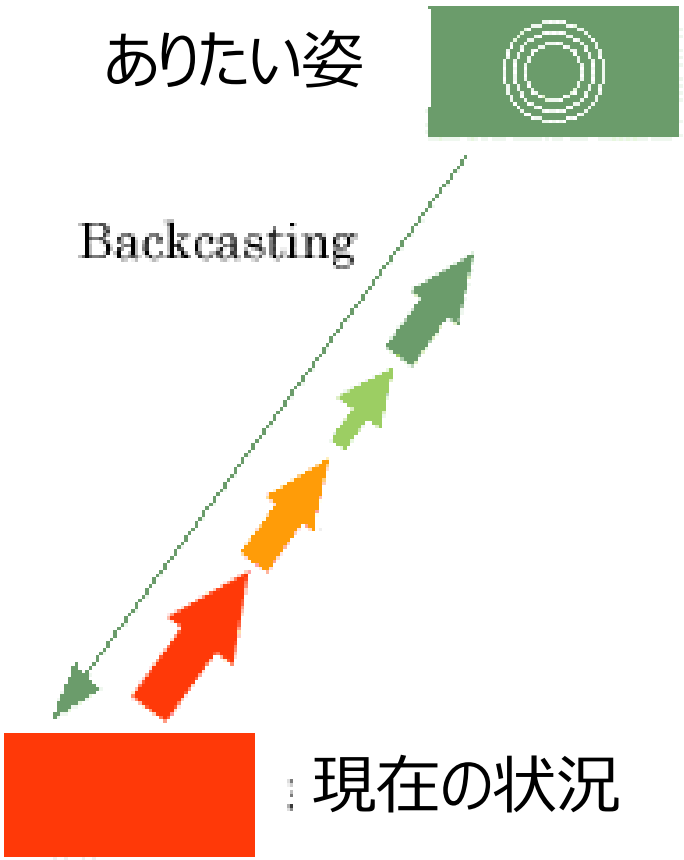
- 現状とは大きく異なる未来をつくり出すことができる
- そのビジョンが魅力的であればあるほど、「そのために頑張ろう！」という力が生まれる
- 途中で大変なことがあっても、「あそこをめざしているんだから頑張ろう！」と支えてくれる

バックキャスティングのビジョンを描いてみよう！



ビジョンづくりの「魔法の言葉」

バックキャスティング
（未来から考える）



差分法

現在と、すべて思うように
いった将来の状況を比べて

・増えていてほしいもの
・減っていてほしいもの
・変わらないでほしいもの

を考える

グループワーク①

現在と、理想的な将来の状況を比べて
・増えていてほしいもの（↑）
・減っていてほしいもの（↓）
・変わらないでほしいもの（→）
をポストイットにどんどん書き出していく

<u>×「どうやってやるか」方法論の議論はナシ</u>

ある程度出たら、グループ分けします
グループのラベルもつけます

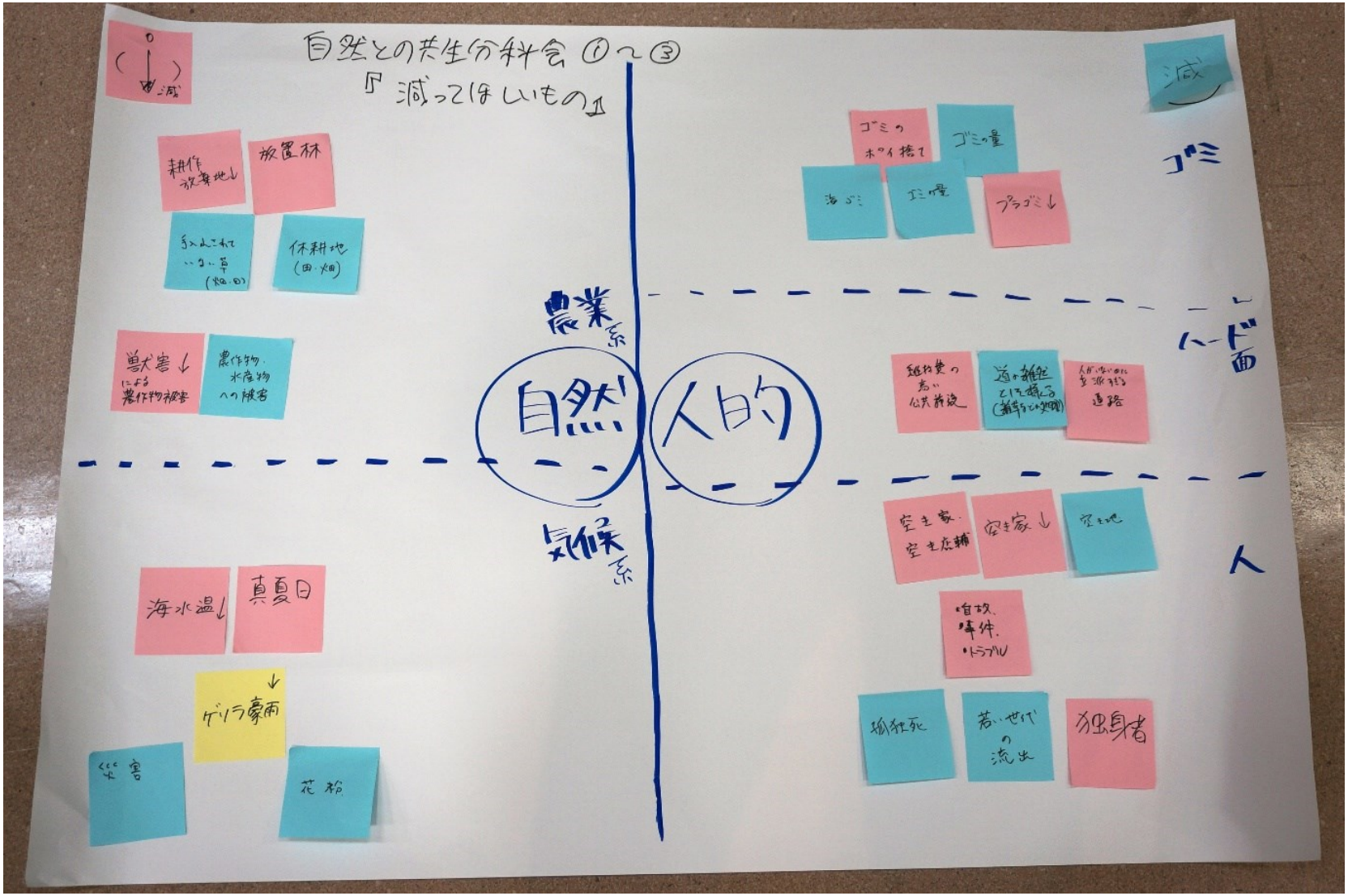
グループワーク②

2つのグループのグループ分けしたポストイットを統合してみましょう

追加も大歓迎です！

⑬

15
16


自然との共生分科会 ①〜③
『減ってほしいもの』
減
ゴミ
ハード面
人
農業系
気候系
自然
人的
耕作放棄地
放置林
休耕地（田・畑）
獣害
農作物・水産物への被害
海水温
真夏日
ゲリラ豪雨
花粉
ゴミのポイ捨て
ゴミの量
海ゴミ
プラゴミ
空き家
空き家
空き地
孤独死
若い世代の流出
独身者

14

交通

- 交通の便利さ
- 車の数 ↓
- 公共交通機関 ↑
- 歩道
  ひろく、ふせき、車イス・ベビーカーとおれる
- 高齢者が移動しやすい
  ~~→~~ デマンドタクシー
- エコで安く、早い公共交通手段 ↑
- 交通事故 ↓

- 教育に関わる人の数 ↑
- 子どもの笑顔 ↑
- 特色のある教育現場の数 ↑
- 地域と学校の教育のあり方 ↑
- 少子化 ↓
- 友達 → (子ども)

- 子どもの権利の浸透 ↑
- 子どもの声をきく人・場
- こどもの貧困
- ↓ いじめっ0 (学校では、とか)
- ↓ いじめ
- 不審者・無事にこのみこと
- いじめ ↓
- → 地域の学校
- 不登校の生の対応し
- ↑ 地域の子どもの数
- ↓ 虐待

若者

- ↑ 若者
  活力が
- 若年層の流出が必要
- ↓ 気仙沼で暮らしたくない という若者
- 病児保育できる環境 ↑
- 子ども ↑
- 海外の働く子の数 ↑
- 学びの機会と拠点 ↑
- 大学で ↑
- 地域資源を活かした仕事の増加 ↑ (地消地産)
- バワ(ハラ) ↓

- 自由時間 ↑
- ↑ 家族と子どもの時間、ゆとり
- ↑ 人のゆとり
- ↓ よゆうのない放課後
- ↑ 子どもたちやすいまち (子どものために作れる)
- ↓ 忙しすぎる先生おや
- 類世代のよゆう ↑ (時や時間など)

- ↑ 子どものあそべるところ
- ↑ 勝手に立ち入っていい自然
- ↑ 外であそべる日 (夏でも)
- ↑ 外であそぶ子ども
- 公園が自由に使えるようになる ↑ (制限がゆるい)
- ↑ 子どもの笑顔
- 子どもの笑顔 →

仕事

- ↑ 気仙沼の
- ↓ 貧困
- ↓ 経済的貧困
- 給料 ↑
- 貧困 ↓
- 世帯収入の増加 ↑
- ↓ 生活困窮者
- 起業件数 ↑

- 働く場所の選択肢 ↑
- 仕事 (就職活動)
- 女性が働きやすいまち ↑

- ↑ ローカル発じ イベント (食べもの、スポーツなど)
- → 自然での遊び
- 野球 ↑
- 遊びの余り ↑ (おかね)

ありのまま

- 多様なんがいて当たり前な感覚
- ↑ LGBTQ+への理解度 ↑

障がい

- ↑ 個別障がいの子も 未来ある子も おとなになっても 実験でいられる
- インクルーシブな教室
- 障害や発達への理解に詳しい専門家
- 地域で障がいスポーツ ↑
- バリアフリーの施設 ↑

居場所

- ↑ いつでもやれるフリースペースのような場所 わか
- みんなが自然に集える場 (コミュニティ) ↑
- 集会スペース ↑
- ↑ 地域での子どもの居場所がない
- 年代を越して気軽に集まれる場所 ↑
- 地域や友達と遊べる場 →
- 地域のつながり →

- 300 ~ 500人 キャパのホール ↑ (やどのような)
- ↑ まちなかにある ベンチ
- 子どもの居場所 ↑

あたたかい交流

- 多世代交流 ↑
- ↑ 海外 外仕事する大人
- すれちがうだけの挨拶
- ↑ サポートしてくれる人
- → おせわのくるんつあ
- → ご近所さん立ち話
- ご自分でできあい ↑
- 助け合いの連鎖 ↑
- 寄りからの実験
- ↑ めしねで子育てするあたたかい空気
- → おせわがいない
- → あいさつしてくれる地域の人
- → おさがり服 おすそわけ食べもの
- 伝統芸能
- 文化施設 (煙突館など) →

高齢者

- ↑ 健康な 元気な子どもの更生への理解
- 仕事的な高齢者 ↑
- 買い物がしやすい
- 買い物難民 ↓
- 障がい者への理解 ↑
- 制作ナトにある障害や病気のある人が働きやすい場 (制度)
- 高齢者への理解
- 一人類世帯 ↓
- ↑ 介護・シェアする人
- 分かりやすいお知らせ (やさしい日本語)
- ↑ 利用しやすい各種サービス (子育て・高齢・障害)
- こどもを育てる人
- ↓ 孤立
- 自殺 ↓
- ↑ 心理支援ができる専門家

参加者の皆さんの感想

- 久しぶりにこのような場に参加できてすごく楽しかった。同時に考え方が固まりすぎていた部分もあったので良い刺激をもらえました。ありがとうございます！
- 若い人、年配の人に関わらず、意見を自由に出せている。熱気があるという印象を受けました。
- テーブルによって様々な意見が積極的に出ていたようで、意義ある時間になった。
- 様々な視点を知ることができてとても面白い作業でした。小中高校生の話も聞いてみたいです。
- ありたい姿に関する」に関する皆さんの意見がとても面白く、いろんなことを気付かされることができた。熱い思いを感じた。
- 一人一人の動きが合わさって、グループ全体で大きな流れを生み、町を動かしそうな予感がしてワクワクしました。
- 世代を超えて、気仙沼の未来の仕掛かりをする楽しさを実感しました。語り合うことでより未来へ何を求められるかが共有できて嬉しいです。
- ここから先どうして行くかということをもっと行政・企業・子どもたちなど多様な人たちと実現できるように考えていくことが必要かなと思います。

視察

コース	自然との共生	地域経済・くらし	人間の安全保障
テーマ	スローフード・循環型酪農	エネルギーの地産地消・ 地域経済循環	子ども食堂（地域食堂）を 通じたつながりづくり
内容	放牧や地元飼料で牛を育て、地域で無理なく持続できる循環型酪農を学び、自然資源の活用に加えてスローフード運動を考える。	地域資源を活用したバイオマス発電の取組（令和３年度気候変動アクション環境大臣表彰受賞）を学び、持続可能なまちづくりを考える。	なぜ、子ども食堂が必要とされているのかを考える（子どもや社会の実情、運営していくために必要なこと）。
視察先	小野寺ファーム（本吉町岳の下）	リアスの森・バイオマスパワープラント（港町）	子ども食堂OGARU （西八幡町）
講師	小野寺ファーム 代表 小野寺佑友 氏	気仙沼地域エネルギー開発（株） 代表取締役 高橋正樹 氏	一般社団法人おりがみ 代表 半沢裕子 氏
時間	13:00～14:30	13:30～15:00	13:30～14:45

多様性（ダイバーシティ）のパワー

2種類の多様性

①人口統計学的多様性

性別、人種、年齢、信仰など

②認知的多様性

ものの見方や考え方

計算では解決できない難題：

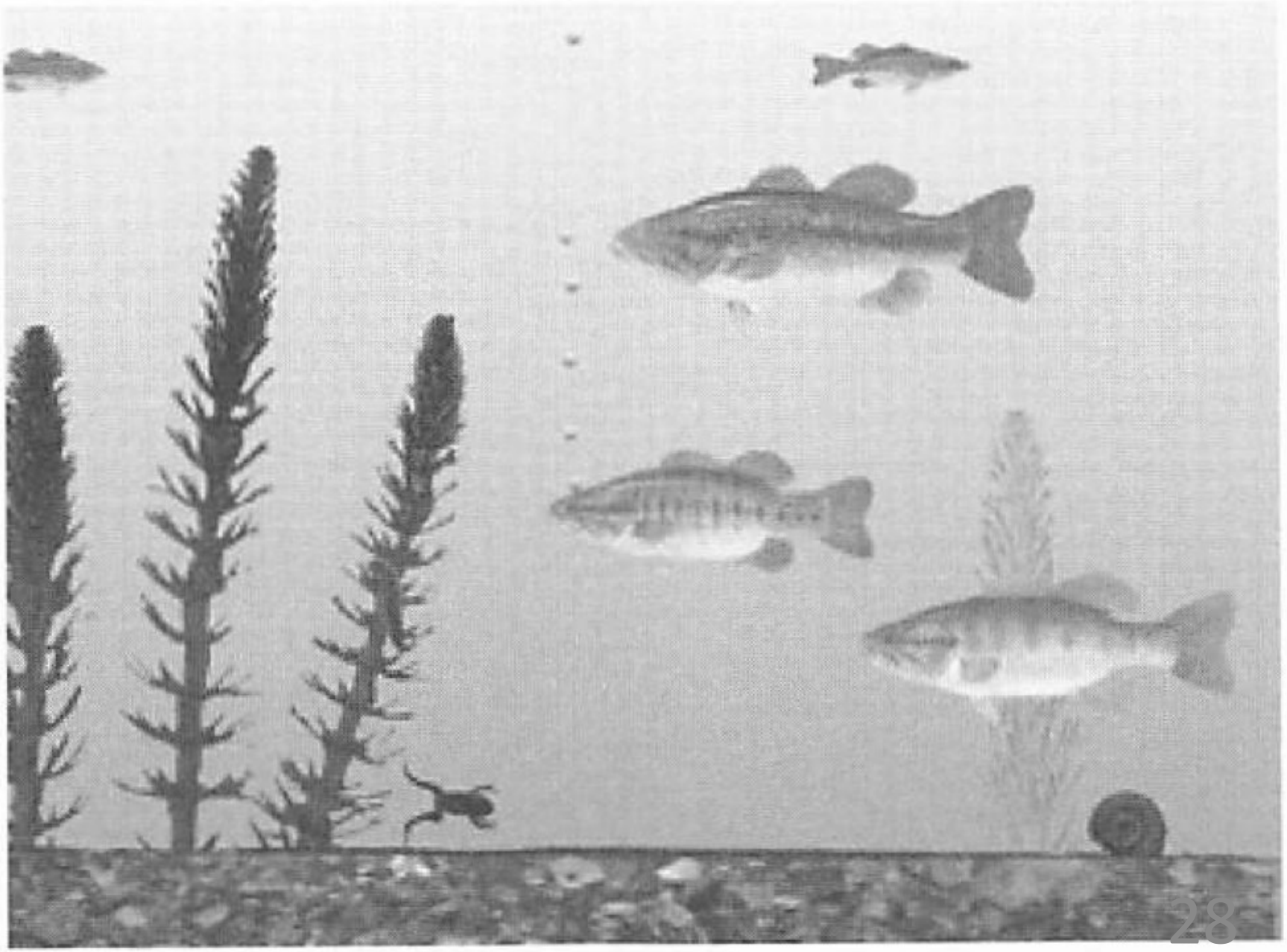
同じ考え方の人々の集団より、多様な視点を持つ集団のほうが圧倒的に有利

2001年、
ミシガン大学の社会心理学者
リチャード.　Ｅ・ニスベットと増田貴彦の実験

日米の学生グループに

水中の様子を描いたアニメーションを見てもらう

そのあと、「何が見えましたか？」を聞く



認知的多様性

- ２つのグループはまるで別々のアニメーションを見ていたかのよう
- アメリカ人：「魚」、手前や中心にある「もの」に重点を置く
- 日本人：「背景」に着目する傾向
- 文化の違い：アメリカは個人社会の傾向が強く、日本はより相互依存的

日本人とアメリカ人がチームを組んだら

- 手前のモノも背景も認識できる
- ２つを合わせれば、現実をより包括的に理解できる
- 私たちの見方はすべて不完全
- でも違う見方をする人同士が協力し合えば、１人のときよりも多くの発見を得られる

カギ

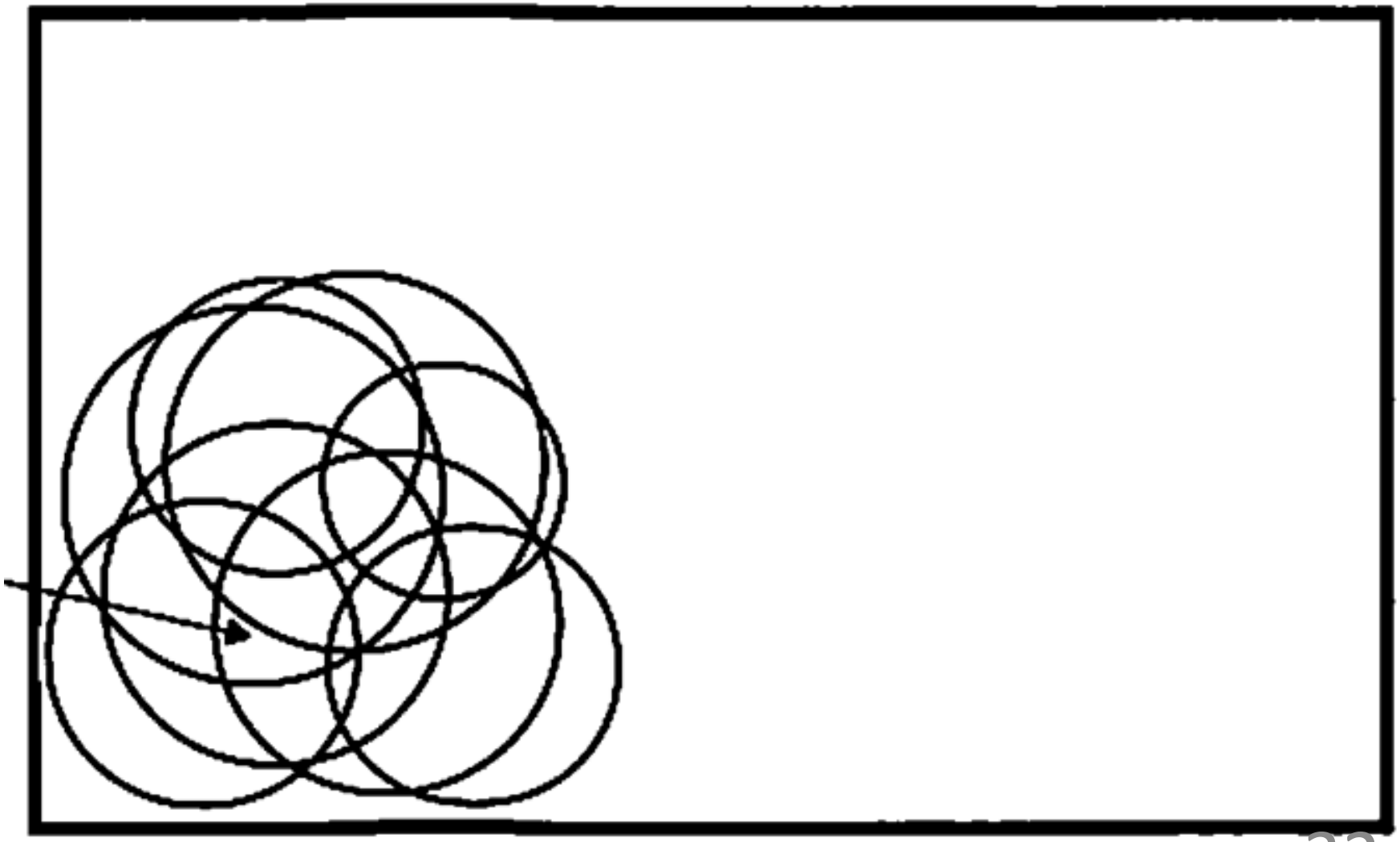
- 視点が多様化すればするほど、見つけられる有益な解決策の幅が広がる
- 多角的な視点を備えていれば、それだけ盲点も小さく（あるいは少なく）なる

大事なポイント

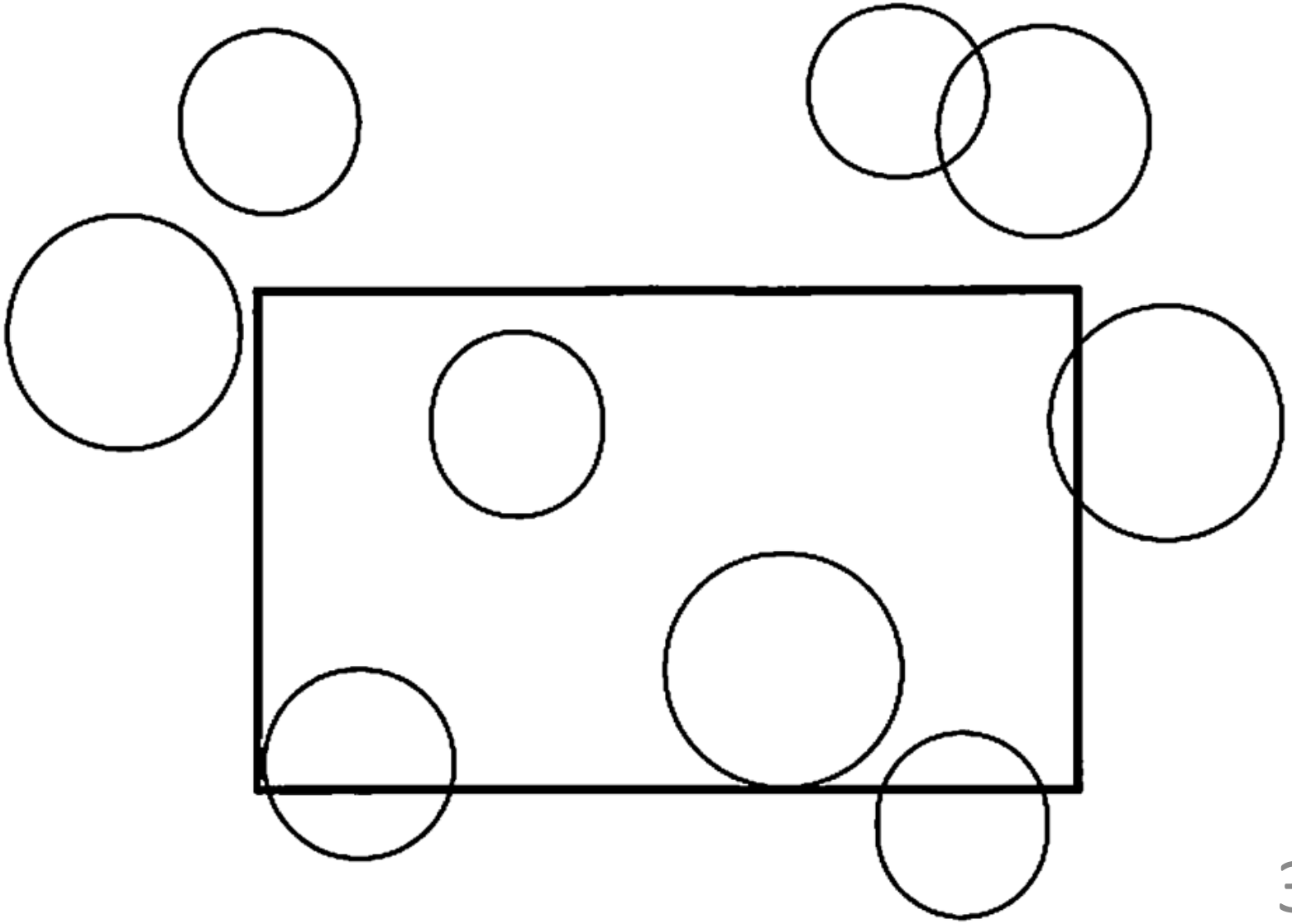
①異なる視点を持つ人々を集めること

②みんなが自分の視点を共有できること

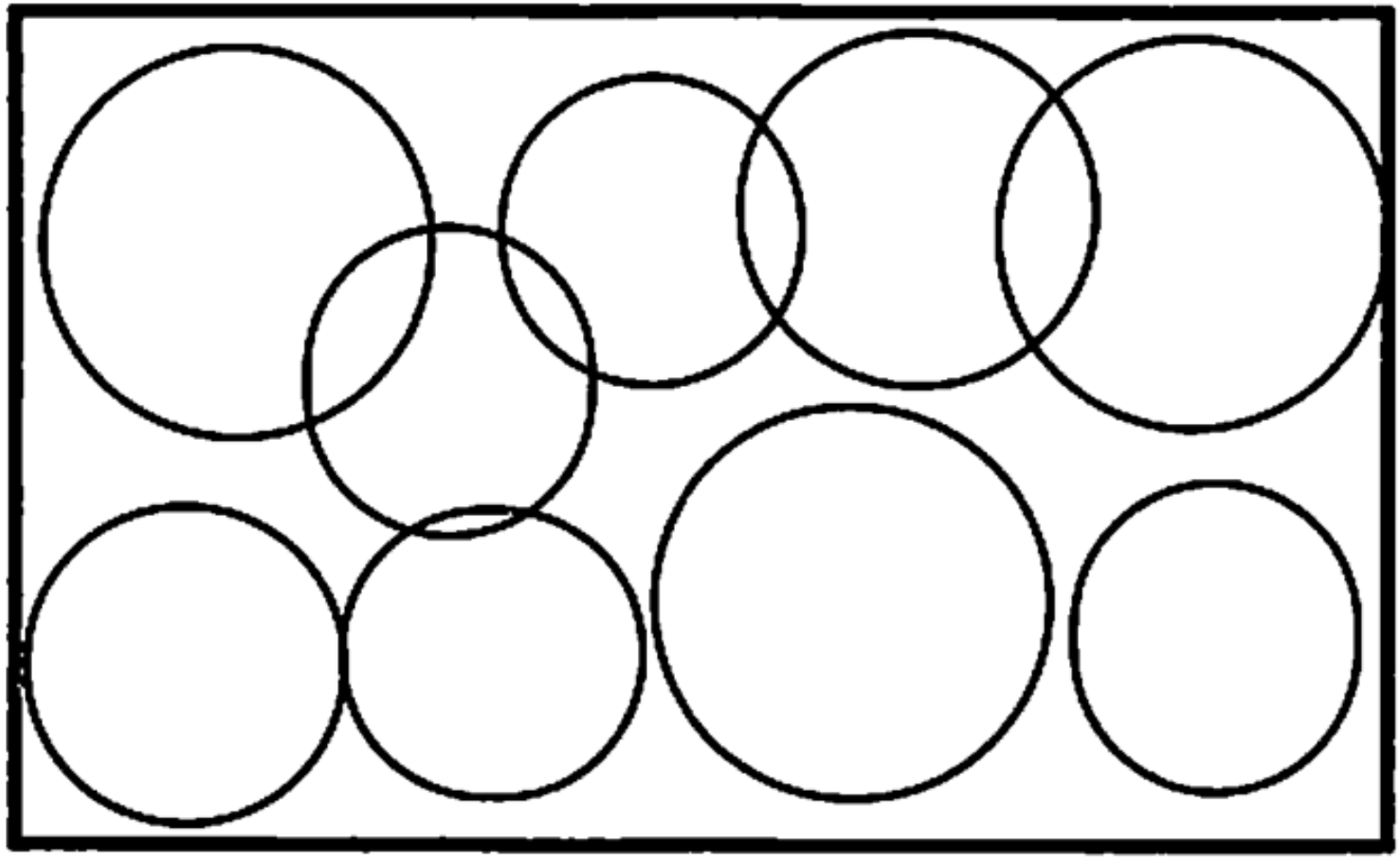
みんな同じような考え方・視点



多様だけど、焦点が絞られていない



焦点を絞ったうえで、多様な意見・視点



第3回　1月13日

持ち寄ったもの

理想的な将来の気仙沼市を考えたときに

・増えていてほしいもの（↑）ピンクの付箋

・減っていてほしいもの（↓）水色の付箋

・変わらないでほしいもの（→）黄色の付箋

- ✓ 自分のイメージ
- ✓ いろいろな市民に聴く
- ✓ 見学の機会に考える

グループワーク①

1. それぞれのグループで、自分たちの担当の分科会で出ている項目を見て、
   - 複数の人が挙げているもの
   - 優先的に入れたいと思うもの

   をピックアップする

・増えていてほしいもの（↑）ピンクの付箋

・減っていてほしいもの（↓）水色の付箋

・変わらないでほしいもの（→）黄色の付箋

2. ピックアップしたものをグループ分けする

3. それぞれのグループの内容を1文で書く（ビジョンの文案）

ビジョンの文案の例

理想の海士町の姿

魅力ある伝統文化や自然豊かな暮らしの中で、誰もが生き生きと活躍できる島
地域ぐるみで見守り、子どもから高齢者まで笑顔あふれる島
島内外の交流を通じて地域の魅力づくりに挑戦する人が集まる島
グローカルな未来の担い手（地域と世界のつなぎ手）を輩出する魅力ある教育の島
海士の地域資源や人材を活用した経済活動で自立している島
自立した経済活動により田園・漁村の風景を守りつつ、新たな文化を創り上げる島

南小国町（きよらの里）

き (自然・里山・循環)
築いてきた美しい里山の景観、伝統文化、生業を次世代に引き継いでいく里

よ (暮らし・幸福度・つながり)
寄り添い支え合い、人と人のつながりを大切にし、一人一人が誇りを持ち、 多様な生き方を尊重しあえる里

ら (安心・安全)
ライフラインを充実させ、地域全体で協力し、だれもが笑顔で安心して過ご せる里

の (人づくり・教育)
のびのびと学べる環境の中で、すべての人が夢に向かって挑戦できる里

さ (エネルギー)
再生可能エネルギーを地域資源から生み出し、有効活用し、未来につながる 豊かな暮らしを実現する里

と (産業、ローカル・グローバル)
共に連携し、世界とつながり、世界に誇れる幸福な暮らしができる里

２０３０年における下川町のありたい姿
～人と自然を未来へ繋ぐ「しもかわチャレンジ」～

（1）みんなで挑戦しつづけるまち

危機や困難に挑戦し続ける不屈の精神や多様な人々、価値観を受け入れる包容力、寛容性などの「下川らしさ」を体現するまち

（2）誰ひとり取り残されないまち

すべての人が可能性を拡げ続けられ、居場所と出番があり、健やかに生きがいを感じて暮らせるまち

（3）人も資源もお金も循環・持続するまち

人・自然資源（森林・水など）・お金などすべての永続的な循環・持続、農林業など産業のさらなる成長、食料、木材、エネルギーなどの地消地産により、自立・自律するまち

（４）みんなで思いやれる家族のようなまち

　人とのつながりを大切に育み、お互いを思いやり、支え合って、安全で安心して住み続けられるまち

（５）引き継がれた文化や資源を尊重し、新しい価値を生みだすまち

　古くても大切なものは守り、新しい価値を生み出す「温故起新」のまち

（６）世界から目標とされるまち

　下川町のこれまでの取り組みを基盤に、さらに進化・深化させ、脱炭素社会の実現（パリ協定）や世界の持続可能な開発（SDGs）の実現に寄与するまち

（７）子どもたちの笑顔と未来世代の幸せを育むまち

　子どもたちがいきいき伸び伸びと成長するよう、すべての未来世代のことを考え、地域全体で育むまち

上勝チャレンジ宣言

自然と一緒に幸せになろうだ！！

1．豊かな自然と共に暮らす町

- 今ある自然に手を加えることで、人と生き物が共存できる山、川、棚田の姿を取り戻す。

くるくるエネルギーでしわしわいこうだ！

2．持続可能なエネルギーを創造する町

- 地域資源を有効活用し、人と自然に優しく、自立することができる循環型エネルギーをつくる。

地と知と和のバトンをつなごうだ！！

3．伝統や文化を受け継ぎながら世界へはばたける町

- 先人たちの技と思いを受け継ぎ、自分たちで考えて行動する力を身につけ、地域や世界に豊かさを生み出せる人を育む。

子どもはみんなの宝物じょ！！

4．町民みんなで子育てをする町

- 町民一人一人が子どもと主体的に関わり、支え、親も地域を頼れて安心できる子育て環境を整え、みんなが住みたくなる町にする。

みんなでワイワイしょーだ！！

5．いつまでも心身ともに健やかに生きられる町

- 様々な交流を通して隔たりのない人の輪が広がり、誰もが必要とされ生涯現役で自分らしく笑って生きる。

ええもんいっぱいあるでないで！！

6．地域の魅力が経済へとつながる町

- 上勝から生み出す物やサービスによる価値が町内外に広がり、幸せに暮らし続けられる経済を育み、人とお金を町内に増やす。

ことこと備えて助け合おうだ！！

7．みんなで備え、支え合う町

- 人、物、情報が自由に行き来できる生活基盤が確保され、災害が起きても生きていけるように住民と行政で備え助け合う。

自然と一緒に幸せになろうだ！！

1．豊かな自然と共に暮らす町

- 今ある自然に手を加えることで、人と生き物が共存できる山、川、棚田の姿を取り戻す。

くるくるエネルギーでしわしわいこうだ！

2．持続可能なエネルギーを創造する町

- 地域資源を有効活用し、人と自然に優しく、自立することができる循環型エネルギーをつくる。

地と知と和のバトンをつなごうだ！！

3．伝統や文化を受け継ぎながら世界へはばたける町

- 先人たちの技と思いを受け継ぎ、自分たちで考えて行動する力を身につけ、地域や世界に豊かさを生み出せる人を育む。

子どもはみんなの宝物じょ！！

4．町民みんなで子育てをする町

- 町民一人一人が子どもと主体的に関わり、支え、親も地域を頼れて安心できる子育て環境を整え、みんなが住みたくなる町にする。

みんなでワイワイしょーだ！！

5．いつまでも心身ともに健やかに生きられる町

- 様々な交流を通して隔たりのない人の輪が広がり、誰もが必要とされ生涯現役で自分らしく笑って生きる。

ええもんいっぱいあるでないで！！

6．地域の魅力が経済へとつながる町

- 上勝から生み出す物やサービスによる価値が町内外に広がり、幸せに暮らし続けられる経済を育み、人とお金を町内に増やす。

ことこと備えて助け合おうだ！！

7．みんなで備え、支え合う町

- 人、物、情報が自由に行き来できる生活基盤が確保され、災害が起きても生きていけるように住民と行政で備え助け合う。

新春スペシャル

全知全能の神様から、

今とまったくかけ離れていても

「こうあってほしい気仙沼」を実現してあげる、と

言われたら、何を望みますか？

※どうやって実現するの？という方法論は考えな

くて良い！　できるだけでっかい夢を広げよう！

新春スペシャル・・・エダヒロだったら？

気仙沼の沿岸はブルーカーボン（海草・海藻）のベルトでぐるりと囲まれている！（海の豊かさ、漁業、温暖化対策も）

お財布もカードも持たずに、どこにでも移動でき、どこでも買い物ができ、病院にも行け、市役所での用事も済ませられる！

子どもも大人も、いつでもどこででも、世界中の受けたい授業を受けたり、面白いプロジェクトに参加できる！

食べ物やエネルギーはすべて市内で調達できる・自分たちでつくれるので、災害やグローバル経済が止まっても困らない！

どこかで迷子になったり、転倒したり、事故に遭っても、すぐに助けが来てくれる！

新春スペシャル・・・ある方のアイディア

死んだ後も、地元の経済
に役に立てるまち！

香典返しの品はすべて気仙沼産！

新春スペシャル

全知全能の神様から、

今とまったくかけ離れていても

「こうあってほしい気仙沼」を実現してあげる、と

言われたら、何を望みますか？

※どうやって実現するの？という方法論は考えな

くて良い！　できるだけでっかい夢を広げよう！